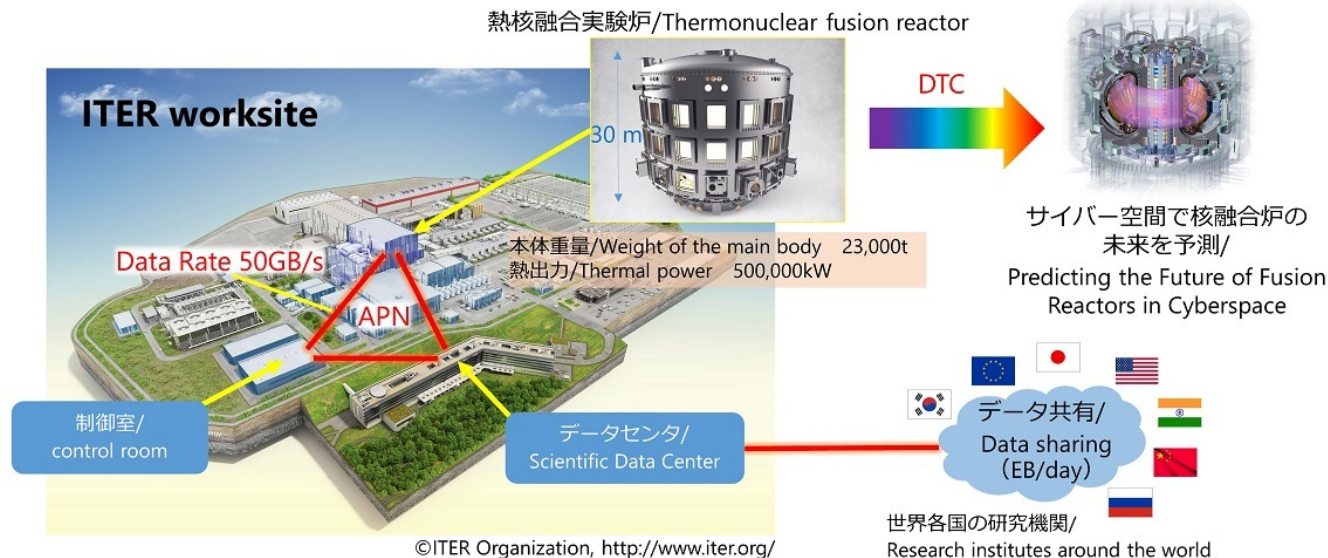




IOWN技術の活用により核融合の安定運用への貢献をめざします

概要

国際核融合実験炉（ITER）の実現をめざし、IOWN技術（APN、DTC）の活用によって、核融合炉から得られる各種センサデータをコントロールセンタへ超高速かつ超低遅延で伝送し、計算された結果を瞬時にアクチュエータにフィードバックするNWの実現により、核融合の安定運用に貢献したいと考えております。



特徴

- IOWN技術の活用により、大容量のセンサデータを超低遅延で伝送

利用シーン

- 大容量のセンサデータを超低遅延で伝送しモニタリング制御することで核融合を安定運用

今後の展開

- DTCを活用し、サイバー空間上に核融合炉を再現することによって、非常に高度なシミュレーションを行うことが可能となり、飛躍的な制御技術向上への寄与が期待されます。

出展社

日本電信電話株式会社

問い合わせ先：
rdforum-nw-ml@hco.ntt.co.jp